

ここは地獄か極楽か

地獄と極楽は存在するのでしょうか？ あるのなら、どこにあるのでしょうか。よく耳にする話では、死後の世界にある、と言われていました。

幼い頃の私も、「蜘蛛の糸」の話や「地獄絵図」等から、死後の世界には地獄と極楽は存在すると信じていました。今は、それらの存在については判断がつかないところではありますが、この世の中には地獄と極楽は存在すると思っています。その理由は以下の文を読んでからです。

ある日若い修行僧が老師に地獄はどこにありますかと問うた。

老師が答えるには、直径1メートルの大鍋があって鍋の中はぐらぐらと沸き、おいしい麺が煮えているが麺を食べる箸も一メートルの長さがある。ではどのような情景が繰り広げられるか想像してみなさい。みんなおなかですいて箸を持って争って麺を食べようとするのだが、箸が長すぎて麺をつかめても口に入らない。しかしそれぞれがみなまっ先に食べようとして狂ったように奪い合うので大混乱になり、ケンカを始め、結果麺は地面にこぼれてしまい誰も食べることができなくなる。これが地獄だ。

僧侶はまた、では極楽はどこにあるのでしょうかと問うた。

老師が答えるには、極楽でもやはり同じ鍋、同じ麺、同じ箸だが、そこの人は箸で麺をつかむと鍋の向かいの人に「この麺はおいしいよ。お先にどうぞ」と言うのだ。向かい側の方は気持ちよく食べ、そして「ありがとう。今度は私にお返しさせてください」と言うと、箸で麺をつかんで相手の口もとに持っていくのだ。そのようにして、すべての人が愉快においしい麺を味わえるのだ。

自分だけを考えるか、あるいはお互いに相手のことを思いやるかで、われわれの人生が極楽なのか、あるいは地獄なのかが決まる。

極楽と地獄は物理的な条件は同じであり、違うのは人の心、「考え方」なのである。

著書「教室がシーンとなるっておきの話」より

上記のように私たちが暮らしている環境は、「自分さえよければ。」という考えのもとでは地獄となり、「相手の立場になって。」という考えのもとでは極楽になります。

さて、皆さんが生活している学校・学級は今、地獄それとも極楽でしょうか。

以前からお願いしている「トイレのスリッパを揃える」ことですが、未だ改善されていません。とても残念なことです。

スリッパを揃えられない行為は相手の立場を考えられない、自分さえよければいいという自分勝手な行動です。この行為だけをみると、ここは地獄と言えるのではないのでしょうか。

私たちの「考え方」次第で、私たちを取り巻く環境は極楽にもなれば地獄にもなります。よい環境をつくるには自分の「考え方」はどうかと、自分自身に問いかける必要があるのではないのでしょうか。

